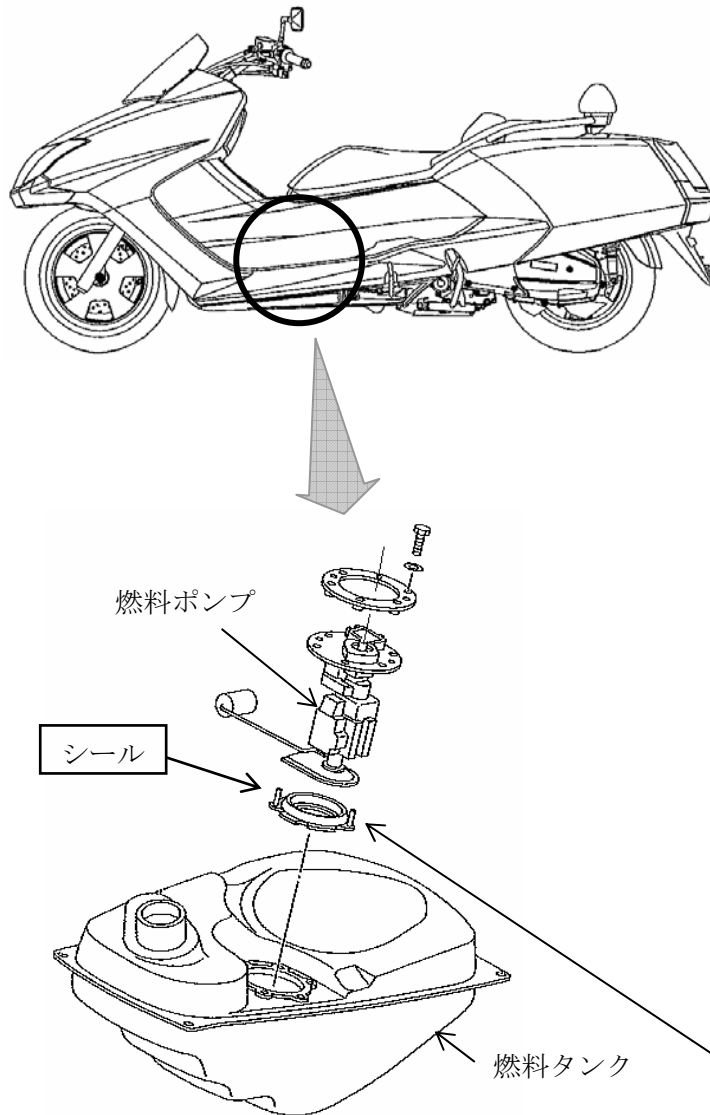


# 改善箇所説明図①



## 基準不適合発生箇所

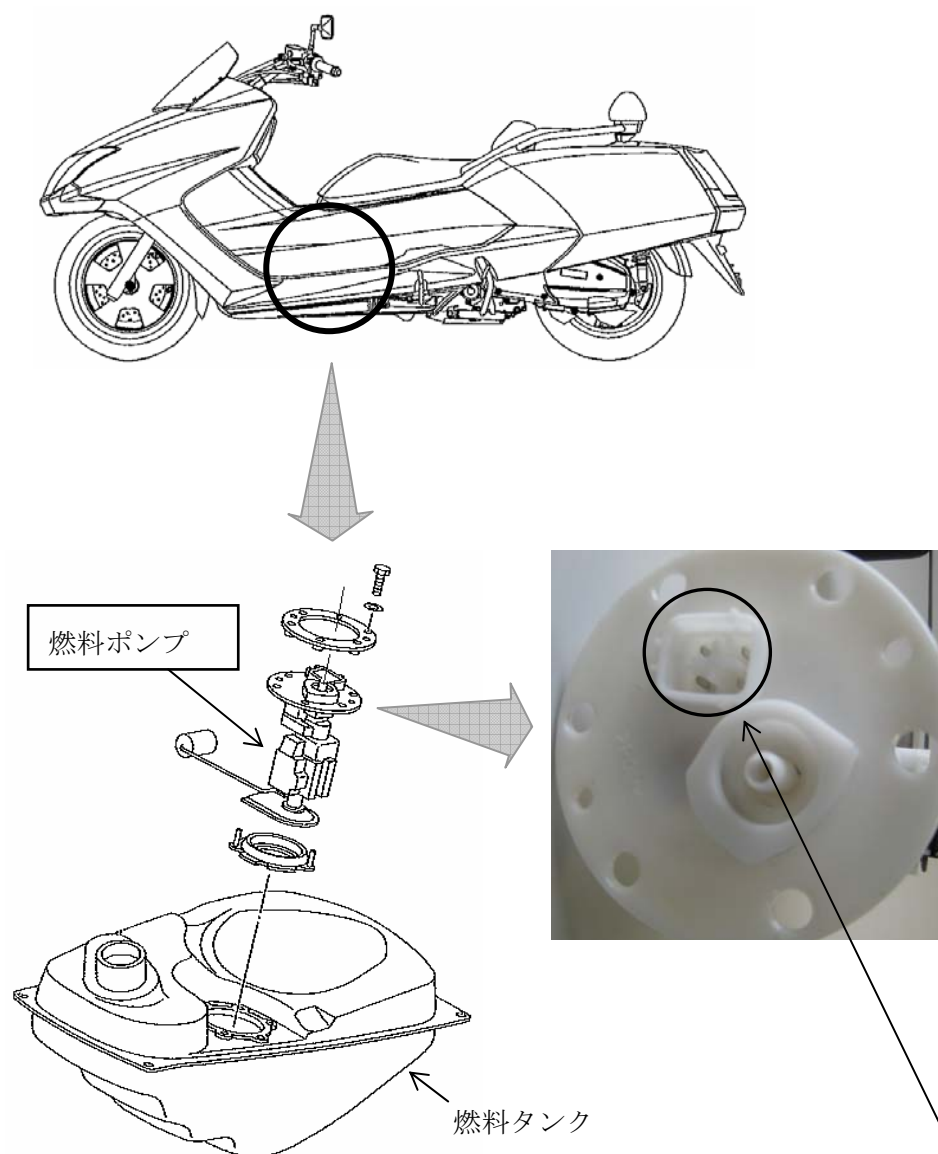
燃料タンクにおいて、燃料ポンプ取付部のシールの材質が不適切なため、オゾン劣化により当該シールに亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、燃料満タン時にポンプ取付部から燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容：全車両、燃料ポンプ取付部のシールを対策品と交換する。（ニトリル系からフッ素系に変更する。）

識別：車両右側メインスタンドブラケット付近に白ペイントを塗布する。

注：  は交換部品を示す。

## 改善箇所説明図②



### 基準不適合発生箇所

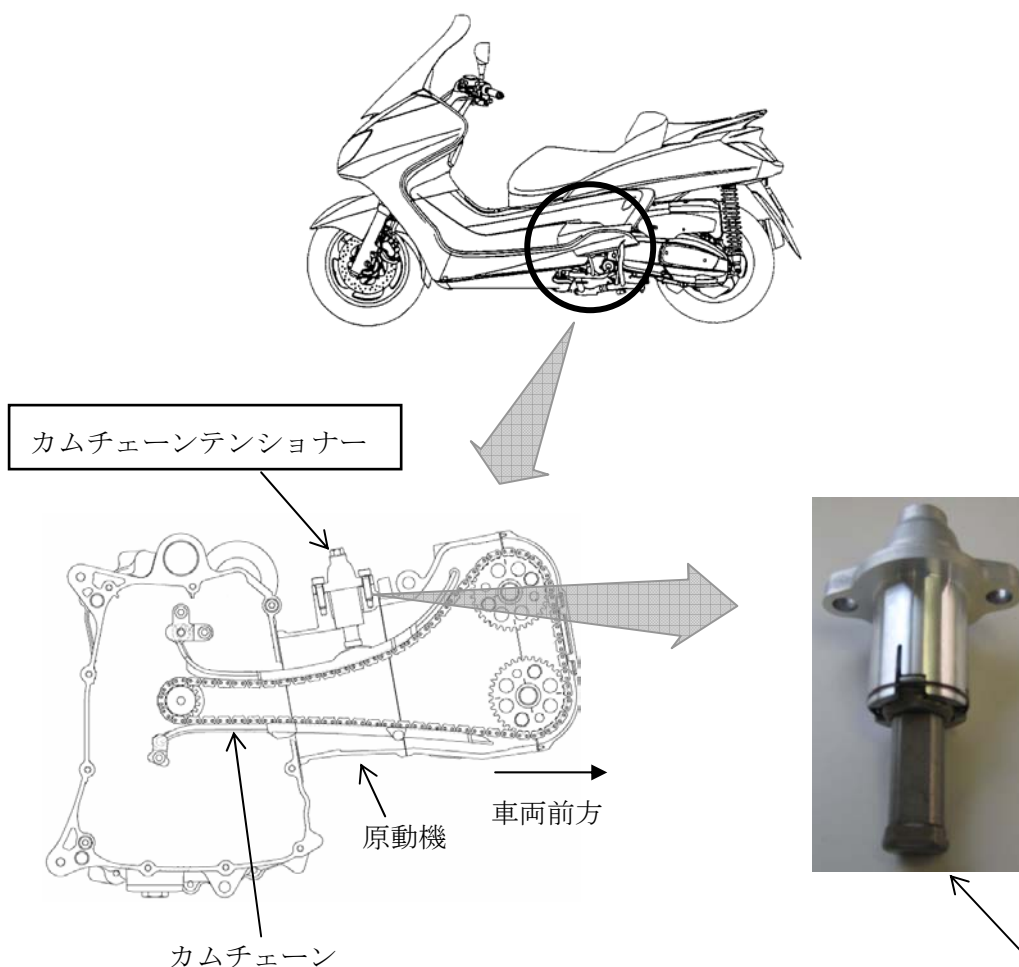
燃料タンクにおいて、燃料ポンプに至る電気配線の防水性が不適切なため、電気配線に入った水が当該ポンプのカプラ内に浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、端子が腐食して折損し、燃料ポンプが作動しなくなり、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、水抜き機能を有するカプラ付サブハーネスと交換する。  
また、燃料ポンプのカプラ内の端子を点検し、錆びているものは、燃料ポンプを新品と交換する。

識別：車両右側メインスタンドブラケット付近に白ペイントを塗布する。

注：  は不具合部品を示す。

## 改善箇所説明図③



### 基準不適合発生箇所

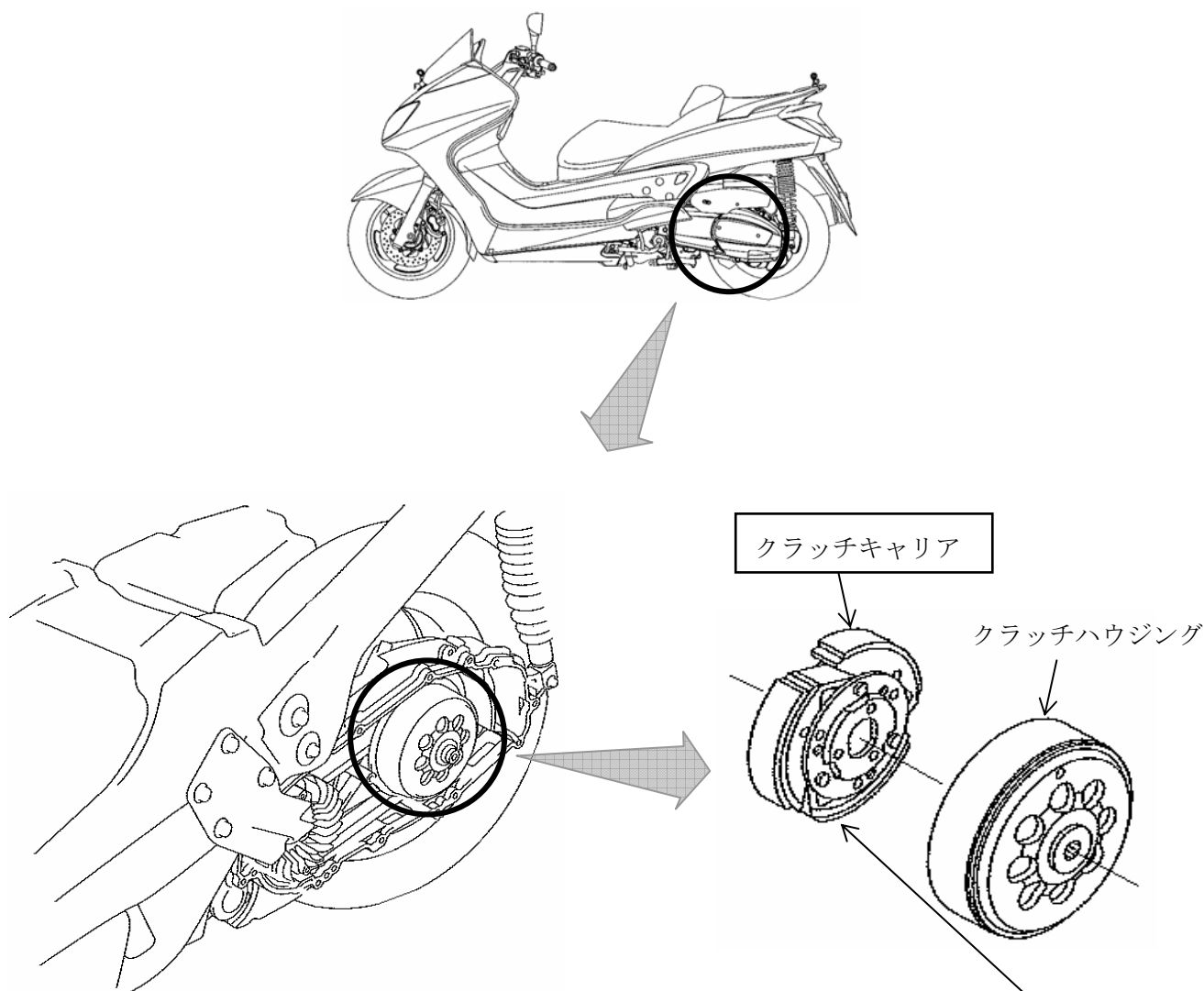
原動機のカムチェーンテンショナーにおいて、原動機の冷却性能が高すぎるため、ブローバイ中の水分が当該テンショナー内部に結露し、テンショナーが錆びて固着することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、カムチェーンが振れて異音が発生し、最悪の場合、当該チェーンが外れてエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、防錆処理を施したカムチェーンテンショナーと交換する。

識別：車両右側メインスタンドブラケット付近に白ペイントを塗布する。

注：  は交換部品を示す。

## 改善箇所説明図④



### 基準不適合発生箇所

教習車仕様の車両において、教習時にブレーキをかけながらスロットルを開ける操作が頻繁に行なわれるため、クラッチキャリアがクラッチハウジングと滑りながら接触することから、摩擦により異常発熱して、クラッチキャリアが早期に摩耗するおそれがある。

改善の内容：全車両、2次減速機の歯車を対策品と交換し、2次減速比を高くする。

識別：車両右側メインスタンドブラケット付近に白ペイントを塗布する。

注：  は不具合部品を示す。